



ニッポンの事業競争力を強くする！ 事業継続等の新たなマネジメントシステム規格とその活用等による事業競争力強化モデル事業

事業概要

各グループ概要

取組紹介

イベント

事務局通信

メディア掲載

report 2013/8/13: 株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院
すべてはトップマネジメントの意思確認から



グループ担当
コンサルタント
村田 成巳

こ んにちは、運営事務局の村田です。今回は、ひたちなか総合病院グループの官民協働で取り組む新型インフルエンザに対するBCMS構築の取組をご紹介します。

ひ たちなか市は人口15万人ほどで、東日本大震災でも大きな被害を受けた地域であり、ルネサス エレクトロニクスの工場被災により自動車産業のサプライチェーンが大打撃を受けたことは記憶に新しいかと思えます。ルネサス エレクトロニクス以外のグローバル企業も多数存在し、技術者の中国、東南アジア等への往来も多く、新型インフルエンザの国内早期発生地域となることも強く懸念されています。

そ こで、当事業ではひたちなか総合病院が中心となり、ひたちなか市役所、ひたちなか保健所、ひたちなか市医師会、ひたちなか薬剤師会、日立オートモティブシステムズも参画して、地域として連携したパンデミック対応BCPを策定し、官民協働のBCMS構築モデルとなることを取組の中心に位置づけています。また総合病院は国内医療機関としてISO22301認証第一号となることも目指しており、このノウハウを他組織へ伝授し、地域としての事業競争力のさらなる向上を高めることも目的としています。

こ ちらは我々ニュートン・コンサルティングが一部コンサルティング支援をしているグループでもあり、先日のコンサルティング支援では、「トップインタビュー」を実施してきました。BCMS構築のスタートは組織の理解とトップマネジメントの意思(コミットメント)を明確(確認)にすることであり、その名の通りまず経営層(トップ)の方々へのインタビューを実施することが必須と我々は位置づけています。

各 組織にインタビューを実施して見えてきたのは、有事の際の責任感や使命感、重要となる業務の濃淡、コミュニケーションの重要性、官と民が連携することによる効果等が見てきました。改めて新型インフルエンザのようなリスクは官民連携して取り組むべきリスクであることを改めて強く認識した次第です。

今 後は、相互連携をスムーズに図るために、各組織の進捗状況や取組意識の違いなどの調整を計っていくことも重要であると考えています。また、グループ組織の被災時の継続業務の優先順位に留意しながら、対応業務の連携をまとめていく予定です。

7~8月に開かれた方針会議の様子

病 院を中心としたこのような地域一体化のBCMS構築は、国内でも初めての取組と思われますし、この先進的な取組が真に有効なモデルとなるよう、当社としても最後までご支援を続けていく予定です。🇯🇵🇺🇸



ひたちなか総合病院

